

よくある誤り

12 よくある誤り

① 「区分」の不整合

様式 3 (5) の「区分」が前年度提出様式 2 (4) と異なる場合は、誤りです。

正しくは、次のとおりです。

様式 3 : 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (第 1 面)

様式第二号の九(第八条の四の六関係)
(第1面)

該当する欄に○印を記入してください。

3	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 〇〇 日

神奈川県知事 殿

提出者 住所 東京都千代田区〇〇町〇-〇

令和 7 年度提出
様式 3 (第 1 面)

令和 7 年度提出の実施状況報告 (様式 3 (5)) の区分は、
令和 6 年度提出の処理計画 (様式 2 (4)) と同じ区分になります。

様式 2 : 産業廃棄物処理計画書 (第 1 面)

様式第二号の八(第八条の四の五関係)
(第1面)

2	法定	自主
	○	

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 〇〇 日

神奈川県知事 殿

提出者 住所 東京都千代田区〇〇町〇-〇

令和 6 年度提出
様式 2 (第 1 面)

【誤りの例】

- 令和 6 年度提出の処理計画 (様式 2 (4)) の区分が『自主』であったが、令和 6 年度の排出量(実績)が1,000トン以上であったため、令和 7 年度提出の実施状況報告 (様式 3 (5)) の区分は『法定』にした。 ⇒ 『自主』が正しい。
- 令和 5 年度の排出量(実績)が1,000トン未満であったため、令和 6 年度の処理計画 (様式 2 (4)) を提出しなかったが、令和 6 年度の排出量(実績)が1,000トン以上であったため、令和 7 年度提出の実施状況報告 (様式 3 (5)) の区分は『法定』にした。 ⇒ 『自主』が正しい。

② 目標数値の不整合

様式 3 (5) の目標値が前年度提出様式 2 (4) と異なる場合は、誤りです。

正しくは、次のとおりです。

※入力箇所は、様式 3-2 (5-2) 「別紙処理フロー（種類ごと）」の左下「令和 6 年度目標値」欄の「薄水色」セルです。

（別紙一括表）は、「別紙処理フロー（種類ごと）」で入力した数値が反映されますが、入力はできません。数値整合性の確認に使用してください。

様式 3：産業廃棄物処理計画実施状況報告書（別紙一括表）

令和 7 年度提出
様式 3（別紙一括表）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙一括表

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	計
① 排出量	45.0	33,000.0	220.0	437.0		278.0								191.0	27.0						34,205.0
②+③ 自ら再生利用を行った量																					0
④ 自ら中間処理を行った量																					0
⑤ 自ら中間処理により減量した量		30,000.0																			30,000.0
⑥ ②+③+④+⑤ 自ら処理した量																					0
⑦ 全処理委託量	45.0	3,000.0	220.0	437.0		278.0								191.0	27.0						4,205.0
⑧ 優良認定処理業者への処理委託量	20.0	600.0	80.0	245.0		179.0								10.0	6.0						1,140.0
⑨ 再生利用業者への処理委託量	45.0	2,000.0	220.0	437.0		240.0								191.0	27.0						3,167.0
⑩ 認定熱回収業者への処理委託量		40.0				10.0															50.0
⑪ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		30.0				5.0															35.0
⑫ 当該事業場における排出量	40.0	31,200.0	200.0	368.0		346.0								182.0	25.0						32,368.4
⑬ ① 自社の他事業場からの搬入量																					0

令和 6 年度目標

様式 2：産業廃棄物処理計画書（別紙一括表）

令和 6 年度提出
様式 2（別紙一括表）

産業廃棄物処理計画書

別紙一括表

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト	計
① 排出量	40.0	31,200.0	200.0	368.0		346.0								182.0	25.0						32,368.4
②+③ 自ら再生利用を行った量																					0
④ 自ら中間処理を行った量																					0
⑤ 自ら中間処理により減量した量		28,700.0																			28,700.0
⑥ ②+③+④+⑤ 自ら処理した量																					0
⑦ 全処理委託量	40.0	2,500.0	200.0	368.0		346.0								182.0	25.0						3,668.4
⑧ 優良認定処理業者への処理委託量	30.0	400.0	78.0	278.0		100.0								12.0	6.0						904.0
⑨ 再生利用業者への処理委託量	40.0	2,300.0	200.0	368.0		230.0								182.0	25.0						3,352.4
⑩ 認定熱回収業者への処理委託量		100.0				30.0															130.0
⑪ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.0				0.0															0.0
⑫ 当該事業場における排出量	35.0	29,050.0	195.0	250.0		275.0								163.0	22.0						29,996.9
⑬ ① 自社の他事業場からの搬入量																					0
⑭ ② 自ら再生利用した量																					0
⑮ ③ 自ら直接処理した量																					0
⑯ ④ 自ら中間処理した量		28,000.0																			28,000.0
⑰ ⑤ ④のうち熱回収を行った量																					0
⑱ ⑥ 自社の他事業場での処理量																					0
⑲ ⑦ 自ら中間処理後の残存量		1,100.0																			1,100.0
⑳ ⑧ 自ら中間処理により減量した量		26,900.0																			26,900.0
㉑ ⑨ 自ら中間処理後に再生利用した量																					0
㉒ ⑩ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量																					0
㉓ ⑪ ⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量																					0
㉔ ⑫ ⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					0
㉕ ⑬ ⑪ 自社の他事業場での処理量																					0
㉖ ⑭ ⑬のうち認定熱回収業者への処理委託量																					0
㉗ ⑮ ⑬のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					0
㉘ ⑯ ⑭ 自社の他事業場での処理量																					0
㉙ ⑰ ⑯のうち認定熱回収業者への処理委託量																					0
㉚ ⑱ ⑯のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					0
㉛ ⑲ ⑰ 自社の他事業場での処理量																					0
㉜ ⑳ ⑱のうち認定熱回収業者への処理委託量																					0
㉝ ㉑ ⑱のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					0
㉞ ㉒ ⑲ 自社の他事業場での処理量																					0
㉟ ㉓ ㉒のうち認定熱回収業者への処理委託量																					0
㊱ ㉔ ㉒のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					0
㊲ ㉕ ㉓ 自社の他事業場での処理量																					0
㊳ ㉖ ㉕のうち認定熱回収業者への処理委託量																					0
㊴ ㉗ ㉕のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					0
㊵ ㉘ ㉖ 自社の他事業場での処理量																					0
㊶ ㉙ ㉖のうち認定熱回収業者への処理委託量																					0
㊷ ㉚ ㉖のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					0
㊸ ㉛ ㉗ 自社の他事業場での処理量																					0
㊹ ㉜ ㉗のうち認定熱回収業者への処理委託量																					0
㊺ ㉝ ㉗のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					0
㊻ ㉞ ㉘ 自社の他事業場での処理量																					0
㊼ ㉟ ㉞のうち認定熱回収業者への処理委託量																					0
㊽ ㊱ ㉞のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					0
㊾ ㊲ ㉗ 自社の他事業場での処理量																					0
㊿ ㊳ ㊲のうち認定熱回収業者への処理委託量																					0
㊿ ㊴ ㊲のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																					0

整合

実績値に誤りがないか確認してください。
「実施状況報告書（様式3）」を提出する場合、「実施状況報告書」に記載した実績値と同じであることを確認してください。

令和 6 年度目標

- 前年度提出の処理計画（様式 2 (4)）で定めた目標値を変更することはできません。
- 廃棄物の種類ごとの内訳、委託先の内訳（再生利用委託か否か、優良認定事業者への委託量）を含めて同じ数値が入ります。

③ 実績数値の不整合

様式 2-2 (4-2) と 様式 3-2 (5-2) の実績値が異なる場合は、誤りです。

正しくは、次のとおりです。

様式 2 : 産業廃棄物処理計画書

(様式 2-2 「別紙処理フロー」)

様式 3 : 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

(様式 3-2 「別紙処理フロー」)

産業廃棄物処理計画書

別紙処理フロー

令和7年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類 **ア** エ. 廃酸

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有償物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量 250.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量 t

令和7年度提出
様式2 (別紙処理フロー)

注) 右上のフローには、令和7年度の目標量を記載してください。下の表には、令和6年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項 目	令和6年度実績
① 排出量	368.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	368.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	278.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	368.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

直接委託処理

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

別紙処理フロー

令和6年度に発生した産業廃棄物ごとの量と処理計画の実施結果

フローに記載した産業廃棄物の種類 **エ** 廃酸

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)

有償物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量 368.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量 t

令和7年度提出
様式3 (別紙処理フロー)

注) 右上のフローには、令和6年度の実績値を記載してください。下表の中央列には、令和6年度目標値を記載してください。下表の右列は、右上フローに記載された令和6年度実績値が自動的に計算されます。

項 目	令和6年度 目標値	令和6年度 実績値
① 排出量	437.0 t	368.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t	0.0 t
⑩ 全処理委託量	437.0 t	368.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	245.0 t	278.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	437.0 t	368.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t

自己処理

直接委託処理

整 合

- いずれも令和6年度実績値であり、それぞれの項目について同じ数値が入ります。
- 様式 3-2 (5-2) から様式 2-2 (4-2) への反映については、P. 10を参照してください。

④ 処理委託量の不整合

「別紙処理フロー」(様式 2-2、4-2、3-2、5-2) の⑩「直接及び自ら中間処理後の処理委託量」より、(⑫+⑬+⑭) の合計値が上回る場合は、誤りです。

※上記⑫～⑭は、「別紙処理フロー」の項目です。

⑫…「⑩のうち再生利用業者への処理委託量」

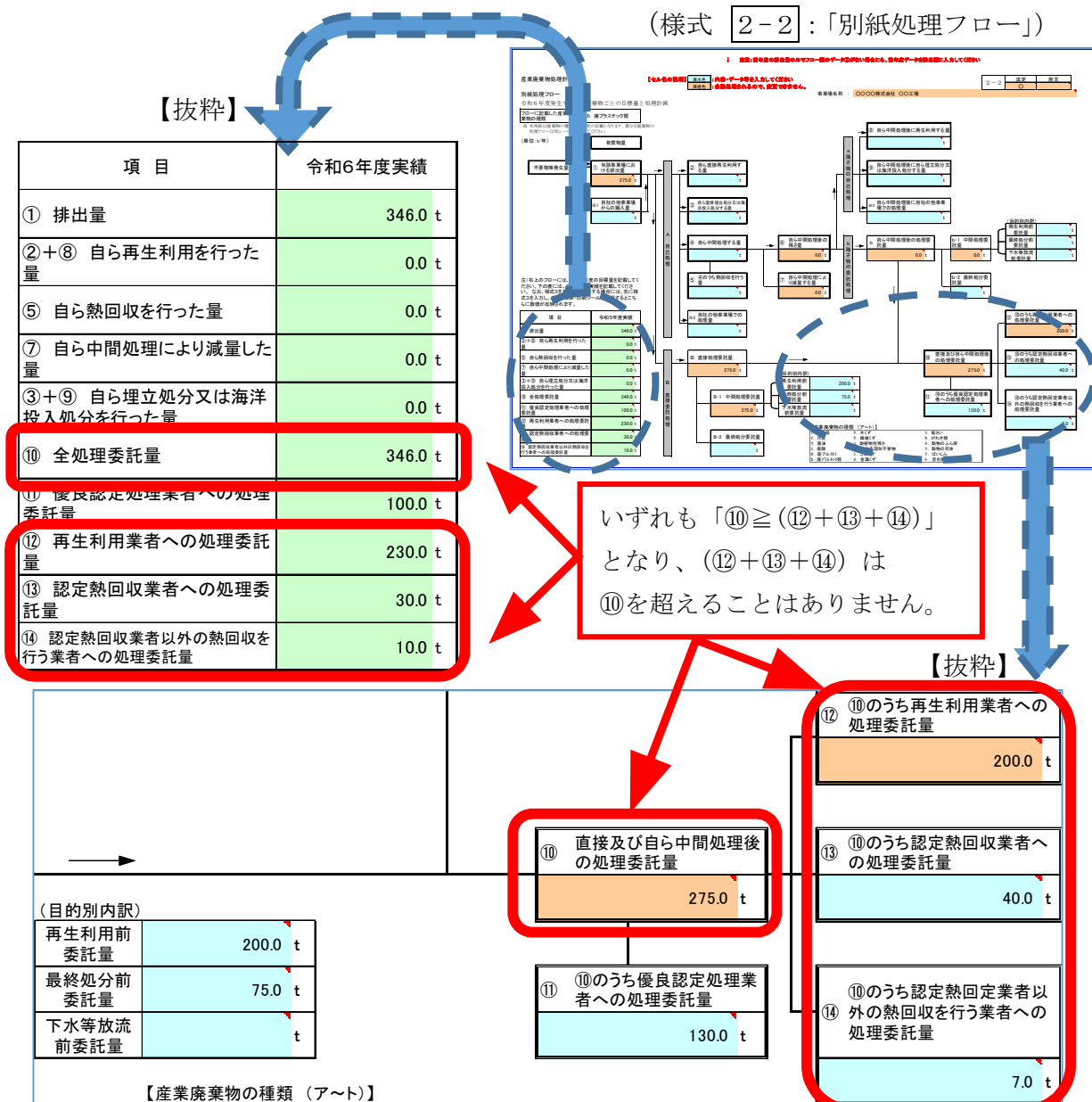
⑬…「⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量」

⑭…「⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量」

正しくは、次のとおりです。

様式 2: 産業廃棄物処理計画書

(様式 2-2: 「別紙処理フロー」)



- ⑩の処理委託量のうち、⑫・⑬・⑭に当てはまる場合⑫・⑬・⑭へ記載します。そのため、(⑫+⑬+⑭) は、⑩を超えることはありません。
- 委託した産業廃棄物が焼却後に路盤材として再生された場合、その焼却が発電焼却等であっても熱回収(⑬、⑭)には含めず、すべて⑫となるため(目的別内訳)再生利用前委託量に含めてください。

よくある誤り

⑤ 「一連の処理の工程」の不整合

- I. 様式 2 (4) 第1面「④一連の処理の工程」の種類数と第2面「産業廃棄物の種類数」が異なる場合は、誤りです。
- II. 様式 2 (4) 第1面「④一連の処理の工程」と様式 3 (5) における「排出量実績の内訳」内容が異なる場合は、誤りです。

正しくは、次のとおりです。

様式 2 : 産業廃棄物処理計画書 (第1面)

様式第二号の八(第八条の四の五関係) (第1面)

2	法定	自主
○		

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 00 日

神奈川県知事 殿

提出者 〇〇〇〇株式会社

住所 東京都千代田区〇〇町〇-〇

代表取締役 〇〇 〇〇 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 〇3-〇〇〇〇-〇〇〇〇

令和 7 年度提出 様式 2 (第1面)

事業場の名称 〇〇〇〇株式会社 〇〇工場 自主管理事業登録番号 〇〇〇〇

事業場の所在地 〇〇市〇〇町〇-〇

計画期間 令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日(1 年間)

当該事業場に関する事項

① 事業の種類	② 事業の規模	③ 従業員数
E16-化学工業 (具体的には) 162 無機化学工業製品製造業	製造業 製造品出荷額 5,500 百万円 建設業 エリア内元請完成工事高 百万円 医療機関 病床数 床 その他の業種 売上高 百万円 (上記項目に該当しない場合にはここに記載をください。)	250名

④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

〇燃え殻⇒コンクリート固形化⇒埋立
〇汚泥⇒焼却⇒埋立
〇廃油⇒油水分離⇒助燃剤
〇廃酸⇒焼却⇒埋立
〇廃プラスチック類⇒破砕・圧縮⇒再資源化
〇金属くず⇒破砕⇒再資源化
〇ガラス・コンクリート・陶磁器くず⇒破砕⇒再資源化
〇ばいじん⇒薬液注入固化⇒再資源化

8 種類

I. 様式 2 : 産業廃棄物処理計画書 (第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (第2面)

令和 7 年度提出 様式 2 (第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	② 計画
排出量 32,368.4 t	排出量 29,700 t

「別紙処理フロー」へ「8 種類」の計画を入力

II. 様式 3 : 産業廃棄物処理計画実施状況報告書 (別紙一括表)

令和 7 年度提出 様式 3 (別紙一括表)

産業廃棄物の種類	排出量 (t)	処理方法	処理量 (t)	処理率 (%)
燃え殻	10,000	焼却	10,000	100
汚泥	5,000	焼却	5,000	100
廃油	2,000	油水分離	2,000	100
廃酸	1,000	焼却	1,000	100
廃プラスチック類	3,000	破砕・圧縮	3,000	100
金属くず	4,000	破砕	4,000	100
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	2,000	破砕	2,000	100
ばいじん	1,000	薬液注入固化	1,000	100

【誤りの例】

- 「一連の処理の工程」には 6 種類の産業廃棄物の処理の工程を記載したが、「別紙処理フロー」は 8 種類の計画を予定している。 ⇒ 様式 2 (4) 「別紙処理フロー」が 8 種類であれば、(第1面)「一連の処理の工程」も 8 種類の産業廃棄物の処理工程を記載してください。
- 「一連の処理の工程」では全量を再生利用と記載したが、「排出量実績の内訳」では全量が最終処分委託であるような著しい相違がある場合。